

## 視 察 調 査 報 告 書

令和4年7月  
市民文教委員会

日 程	令和4年7月4日（月）9時30分～11時30分
視察先 及び 調査項目	① 舞鶴市リサイクルプラザ 9時30分～10時15分 ごみ減量の取組について  ② 子育てひろば「ひまわり」 10時30分～11時30分 子育てひろばの事業内容及び子育て世帯の実態について
参加委員	田村優樹委員長、伊田悦子副委員長、小谷繁雄委員  高橋秀策委員、仲井玲子委員、眞下隆史委員

## 概 要

## 【リサイクルプラザ】

## &lt;対応いただいた方&gt;

リサイクル事務所長、  
市民文化環境部環境対策室長

## &lt;調査事項に関する説明の概要&gt;

市民文教委員会の重点項目である「ごみ減量の取組3Rに係る調査・研究」を行うため、舞鶴市リサイクルプラザでの循環型社会の確立、環境への負荷低減など、3Rの内、リユースとリサイクルの取組を視察した。

## &lt;委員の所感&gt;

- ・ リサイクル教育を行うプラザの役割が重要であることに加え、分別の意義や工場内での仕分け作業の難しさ、作業員の手間など、その取組を広く市民にPRする仕組みや方法、工夫が必要であると感じた。
- ・ 再生された家具などを求める方が、約80%もおられるという実績から、「今後とも継続した事業展開を望む」という意見や、「子供服などを頻繁に出張して提供することはできないか」「リサイクルプラザに来ることが不便な方への配慮も必要ではないか」「施設そのものが狭く、老朽化しているのではないか」などの意見があった。
- ・ 3Rの現状、取組に対する評価に加え、ごみ削減のための広報等、市民の皆さんにご理解いただける施策を強化することも重要だと感じた。



## 【子育てひろば ひまわり】

### < 対応いただいた方 >

NPO法人ひとまわり代表

### < 調査事項に関する説明の概要 >

家庭教育を支える仕組みづくりを調査・研究する上で、子ども・保護者への家庭・教育支援の更なる充実、求められる支援とはどのようなものかを認識するため、子育てひろば「ひまわり」が活動されている事業の内容や子育て世帯の実態を把握するための視察を行った。



### < 委員の所感 >

- ・ 子育て広場を利用される方々の中には、転勤などで舞鶴に来られ、「子育てに不安をもっている」「友達が少ない」など交流の場がないことから、孤独に陥りやすい現状があると認識した。
- ・ 子育てひろばでは、誰に相談していいのかわからない親に対して、産前産後ケアにおける様々な悩みなどにも適切な支援につなげる施設として活動されており、民間での努力が強く感じられる。
- ・ こうした事業について、広く的確に広報する手段のほか、今後、行政として、どのように支援するのか、また、関係各所がどのように連携していくのかについて検討しなければならないなど、公的支援が必要不可欠であり、加佐地域や大浦地域といった未整備地域にも必要性を感じるといった意見があった。